

意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

案 件 名	登別市本庁舎建設基本計画の改訂（案）	
意見の募集期間	令和4年2月3日から3月4日	
担 当 グ ル ー プ	総務部本庁舎整備推進室本庁舎整備推進グループ	
意見の提出件数	3件	
提出された意見の概要と市の考え方		
NO	意見の概要	市の考え方
1	<p>「津波浸水」について記述がありますが「停電」に対する記述が必要ではないですか？過去、登別市では停電によって市役所の業務不全が起こっているのに、全く想定をしていないのは、基本計画としては不十分です。</p> <p>停電への対策記述としては、自家発電設備や蓄電設備の記述、異系統からの受電などです。</p>	<p>本計画において、災害時などの非常時の対応として、最低限72時間のバックアップ機能を確保し、初動からの確実な災害対応を可能とするとともに、被災時においても一定の行政機能が維持できるよう計画することとしております。</p> <p>また、電気のバックアップについても、非常用発電機を長時間にわたって運転するため、燃料の備蓄場所や、間欠運転に耐えられる回路構成を検討するなどの記載をしているほか、受電系統、発電設備、燃料供給の二重化についての記載もしております。</p> <p>停電の対策については、この内容を踏まえつつ、今後、基本設計の策定時にさらに検討してまいります。</p>
	<p>駅やバス停など公共交通機関対策について。</p> <p>市役所への公共交通機関の在り方としては、バスが前提になるでしょう。</p> <p>また、タクシー乗り場も含めて整備計画を盛り込むべきではないでしょうか。</p> <p>駅やバス停については記述がありますが、タクシーを想定していないのは問題です。</p> <p>また、バス停の在り方は文章としては短かすぎます。もっと深く考察が必要です。</p>	<p>公共交通機関を利用して市役所を訪れる方は一定程度おられると想定しておりますが、新庁舎の最寄りのバス停を通過するバスの便数は少ないことから、路線バスを利用する方にもできるだけ不便をおかけしないようバス事業者の意向も確認しながら、協議・検討を進めてまいります。</p> <p>また、タクシー乗り場については、今後、基本設計の策定時に検討してまいります。</p>
	<p>フリーアドレス制にするとありますが、J-LISのLG-WANへの接続とインターネット環境への接続等どう情報機密性を担保するのか検討が必要ではないですか？</p> <p>LG-WANへはWi-Fi/有線LANでも機密性</p>	<p>本市のネットワーク構成は、現時点においても業務システムを扱う領域、地方自治体間をつなぐ閉域網であるLGWAN領域、インターネットに接続されたインターネット領域の三層に分割することで機密性を確保してお</p>

<p>保持が必要であり情報漏洩はあってはならない事です。床下に情報接続口（情報コンセントをいう）を設置するとの事です、来庁者が悪意ある行動をしないように対策も考えるべきです。</p>	<p>り、新庁舎においても継続することを基本としています。</p> <p>また、LGWAN 領域では階層ごとに ID・パスワードを用いユーザー認証行うなどセキュリティ対策に努めており、無線 LAN への接続についても事前共通鍵方式ではなくクライアント証明書を用いた手法を採用するなど、高度な認証方式により活用しています。</p> <p>新庁舎においても、建設時のセキュリティリスクを勘案しながら、セキュリティ対策を講じることとしております。</p>
<p>太陽光発電設備や蓄電池にいて記述がありますが、太陽光発電設備は耐用年数が 20 年とされています。減価償却や耐用年数経過後の処分について考える必要性やそもそも台風暴風雪雨など強風等で壊れてしまう事もあります。また、光害（反射する公害）もありその点を考えているのでしょうか？</p>	<p>新庁舎の建設にあたり、気候風土の特色を考慮した自然エネルギーの活用、費用対効果の高い省エネルギー対策の導入により、環境配慮型庁舎を目指すこととしております。</p> <p>また、新庁舎では、地中熱や太陽光発電などを利用すること、また、ZEB Ready を実現し、供用開始後も省エネに努めることとしております。</p> <p>太陽光パネルの設置については、今後、基本設計の策定時に、設置の要否や、設置する場合はその設置方法について、さらに検討してまいります。</p>
<p>災害備蓄品について記述があります。災害備蓄品ですが消費期限（賞味期限）や使用限度が設定されています。他市の消防（成田市消防本部）の事例ですが、救急出動中に AED（自動体外式除細動器）のバッテリーが切れ、傷病者に電気ショックが行えなかった事がありました。AED みたいな装置が使えないとかあってはならない事です。電池の耐用年数や「飲料水の耐用年数」など、定期的な交換計画や点検を踏まえた計画を策定するべきではないでしょうか？</p>	<p>備蓄品については、登別市備蓄整備方針において、市民の生命維持を最優先事項として避難等で必要となる、食料、飲料、台所・食器、電化製品、生活用品、避難所備品（乾電池含む）・応急用品、燃料その他の物資について年次的に整備することとしております。</p>
<p>閉庁日の施設利用について。死亡届・火葬届や婚姻届など当直員が担当しているが、今後その在り方も含めて記述が必</p>	<p>夜警員の業務内容については、登別市本庁舎建設基本計画に記載する必要はないと考えておりますが、新庁舎での夜警員の業務内容</p>

	<p>要ではないか？</p> <p>また、災害発生時の初期対応について当直がどこまで対応をするのかも含めて記述が必要だと考えます。</p>	<p>は、今後検討してまいります。</p>
2	<p>登別市民の将来減少するであろう数字の表がありませんでした、(クリンクルの新建設も人口減として建物のことを考えている。) 将来住民減少の表の提示お願いいたします。登別市民の人口がどのくらいと予測して本庁建設を考えていますか。</p>	<p>本計画の【表-24】において、本市の人口と職員数の推計を記載しております。</p> <p>人口減少率から単純に計算した場合の職員数の試算では、令和27年度には290人まで減少しますが、今後、業務量が増加していくことも予想され、今後も安定した市政運営を行うためには出来る限り人件費を抑制する視点を持ちながら、市民サービスの水準を落とすことなく、一定レベルを維持するための職員数を確保する必要があるとの考え方もあり、将来の職員数を想定することは非常に困難です。</p> <p>また、現在でも必要な職員数の確保ができず、部署によっては業務の負担が大きくなっている状況も見受けられます。</p> <p>こうしたことから、想定する職員数については、平成31年3月に公表した「登別市定員適正化計画」の終期である令和5年4月1日現在の職員数の目標値である420人のうち本庁舎に勤務する276人と、会計年度任用職員109人を合わせた385人と想定し、概算床面積等を算定しております。</p>
	<p>議場の配置の件</p> <p>シンプルであっていつでも災害用としても使える。議員数も将来減少することになると思います、現在の数ではなく将来の議員数を考慮して計画を考えているのでしょうか。</p>	<p>議員数は令和3年4月1日現在の議員定数19人で算定しております。</p> <p>議会機能につきましては、議決機関としての独立性を確保するとともに、市民に開かれた施設となるように議場や委員会室などを適切に配置します。</p> <p>また、閉会期間には多目的な利用を見据え、今後、基本設計の策定時に、本市に適した議場のあり方を検討してまいります。</p>
	<p>耐震の件</p> <p>震度6を予測している。泊原発は200,280ガル、住友林業住宅は1500ガル、本庁はガルにしたらどのくらいになるのでしょうか。</p>	<p>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成25年制定)官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説令和3年度版では、地震及び津波による災害時に官庁施設として必要な</p>

<p>(他の建物と比べるとわかりやすいので。)</p>	<p>機能の確保を図ることを目的としています。新庁舎の構造体の耐震安全性確保については、大地震動（建築基準法において規定する極めて希に発生する地震動）後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られるものとなるよう、今後、基本設計等の策定を行ってまいります。</p> <p>なお、地震動の大きさを表す単位には、震度、ガル、カインの単位がよく用いられ、ガルは地震の揺れの強さを表すのに用いる加速度の単位ですが、地震動の大きさは加速度の大きさだけでは判断できず、その周期などが大きく影響するとされていることなどもありガルの表記はしておりません。</p>
<p>自然エネルギー活用の件 窓ガラスが多いと自然エネルギーが0円で手に入ります、耐震の影響が許す限り、0円で手に入る自然エネルギー大いに利用していただきたいと思えます。</p>	<p>新庁舎の建設にあたり、気候風土の特色を考慮した自然エネルギーの活用、費用対効果の高い省エネルギー対策の導入により、環境配慮型庁舎を目指すこととしております。</p> <p>照明につきましては、自然光を室内に取り込むことで照明エネルギーの削減を図ることができますので、今後、基本設計の策定時に、さらに検討してまいります。</p>
<p>雨水量の件 多分災害の時には大いに役だつのではないかと思いますのでもう一度検討ください。</p>	<p>雨水利用については、雨水を貯蔵し、それをろ過してトイレ排水等へ活用するなど、今後、基本設計の策定時に、さらに検討してまいります。</p>
<p>天井の件 天井の高さにより光熱費がかなり違いがありますが、どのくらいの高さを想定していますか（私が資料を見落としているかもしれませんが）とても重要なことだと考えています。</p>	<p>改訂前の本計画では、現庁舎敷地内に新庁舎を建設することとしていたため、近隣の住宅地、小学校への日影の影響が大きくなることから、概算条件として天井高を設定し検討しております。</p> <p>しかし、新庁舎の建設場所が旧陸上競技場敷地となったことから、実際の天井高については、今後、基本設計の策定時に、あらためて検討してまいります。</p>
<p>備蓄の件 世界スフィア条約の中にテントを災害の時に備蓄しなさいと書かれています、2～3万位</p>	<p>テントについては、登別市備蓄整備方針において、屋外用テント、室内用テントを備蓄品として整備することとしており、現在も優先</p>

<p>で個人のプライバシーが守れます（大きな場所に雑魚寝ではなく）テント検討ください。</p>	<p>的に開設する避難所4箇所及び本庁舎に備蓄をしております。 新庁舎においても、テントを備蓄することとしております。</p>
<p>建築予算について 2026年に本庁建設予定ですが、世界情勢をみましても、円高になり、材料費が高騰されることが予測されます、その時には予算を追加するのか（どのように資金を用意するのか、建築内容を検討されるのか）が明記されていません、とても重要ですので資料に明記をお願いします。</p>	<p>材料費については、原油高による原材料・輸送費の高騰や、ウッドショックと言われる木材価格の高騰などが生じていることは、認識をしております。 本計画では、新庁舎建設事業の総事業費は約53～62億円、そのうち建築工事費は約38～42億円を基本とし試算しております。 また、事業費については、現時点における概算であり、労務単価や物価、経済状況、その他の事情等により増減する可能性がある旨記載しております。 今後、基本設計や実施設計を策定する中で、事業費が確定しますので、事業費は実施設計に明記いたします。</p>
<p>事務所の椅子、机について AT企業では椅子を使わない事務所を見たことがあります、仕事の能率が高い、人間の腰にいいと言われております、全部の部署では無理でしょうが、会議室など採用を検討してみてください。</p>	<p>執務室については、オープンスペースを基本とし、コンパクトかつ柔軟で効率的な職場配置を可能とするユニバーサルレイアウトを導入し、また、限られたスペースを有効に活用するため、基本的に職員が個々の専用机を持たないフリーアドレス制を導入することとしております。 執務室の椅子は全職員分配置しますが、各フロアに設置する打合せスペースには、椅子がなく、立ったままで打合せができるスペースの設置も検討してまいります。</p>
<p>本庁の建物について 本庁は何を一番重要して計画されたのでしょうか、今後いろいろな問題が出たときの「核」となりますので教えていただけますか（たくさんあると思いますが、何点かに絞らなければ、バラバラの構想になると考えています）</p>	<p>新庁舎建設の基本的な考え方となるコンセプトとしましては、「市民の安全安心を守り、市民が集い、協働のための庁舎」としております。 また、新庁舎建設の基本方針としましては、次の4つの基本方針を定めております。 1つ目は「市民の安全安心を支える庁舎」であり、防災拠点としての高い耐震性を確保し、様々な災害に対応できる機能を有した強い庁舎を目指すこととしております。</p>

		<p>2つ目は「市民が集い、活用できる憩いの場となる庁舎」であり、多くの市民が集まり、活用し、憩いの場となる庁舎を目指すこととしております。</p> <p>3つ目は「誰もが利用しやすく、人や環境にやさしい庁舎」であり、来庁した市民等がわかりやすく、プライバシーにも配慮した窓口機能を備えた庁舎を目指すこととしております。</p> <p>4つ目は「使いやすく効率的な庁舎」であり、適正な執務室を確保し、コンパクトで使いやすく効率的な庁舎を目指すこととしております。</p> <p>今後は、これらのコンセプトや基本方針を踏まえ、基本設計等を策定してまいります。</p>
3	<p>茨城県古河市から登別市中央町に転入して来ました。市の事に関しては関心がなかったが、市役所の高台への建設に関しては、津波被害を免れる為の高台建設とうかがいましたが、毎年人口が減る中高台に建設する必要があるかメリットデメリットを調査しての事でしょうが、登別市は街と街が点になり、線となって連らなっている様に感じます。登別は温泉が顔ではないか、顔の温泉に市民が何回行ってきてるか（アンケート調査して見て下さい）。私は中央町に来てから温泉には2～3年は年に数回行きましたが、現在は、伊達の道の駅から洞爺方面に年に数回ドライブしています。登別は見る所（見られる、見せる）が少なく魅力がない。それを考慮し、市役所を温泉地区に持って行くことを考えても良いのではないかと。又市民が気がねなく行ける様な無料の駐車場の整備もお願い致します。</p>	<p>新庁舎の建設場所については、令和3年11月に改訂した登別市本庁舎建設基本構想により、旧陸上競技場敷地に変更することとしております。</p> <p>また、無料の駐車場の整備については、敷地内に来庁者専用の駐車場スペースを確保することとしております。</p>